

さがかけ「複雑流動」



2期生成果報告シンポジウム

@第63回日本伝熱シンポジウム

日時 2026年5月27日（水）9:20～15:10

形式 現地会場＋オンライン配信のハイブリット

会場 現地：札幌コンベンションセンター 特別会議場
オンライン：接続情報は参加登録者の方へ別途ご案内

開催概要 さがかけ「複雑流動」領域の2期生9名（2022年度採択課題）の研究成果をご紹介します。
分野を跨いだ活発な議論の場となれば幸いです。
皆様のご参加をお待ちしております。

参加費 現地参加：第63回日本伝熱シンポジウムへの参加登録が必要（原則有料、一部無料区分あり）。
オンライン：無料

お申し込みはこちらから（現地参加の方は不要）

5/25（月）正午までにお申し込みください。
https://form2.jst.go.jp/s/Complex_flow



問い合わせ先 complex-flow@jst.go.jp

主催



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



プログラム

時刻	分	発表者	所属	題目
9:20 ~ 9:30	10	後藤 晋	さきがけ「複雑流動」領域 研究総括、 大阪大学 大学院基礎工学研究科	はじめに
9:30 ~ 9:55	25	辻 徹郎	京都大学 大学院工学研究科	Optothermal fluidicsの 分子流体科学への展開
9:55 ~ 10:20	25	佐藤 健	金沢大学 設計製造技術研究所	非ニュートン／非一様／ 非平衡系の新しい流体科学
10:20 ~ 10:35	15	休憩		
10:35 ~ 11:00	25	鈴木 崇弘	大阪大学 大学院工学研究科	材料と流動・輸送現象の 協創ものづくりの原理解明
11:00 ~ 11:25	25	鈴木 龍汰	東京農工大学 西東京三大学 サステナビリティ国際社会 実装研究センター	化学熱力学を融合した 界面流体力学の創成
11:25 ~ 11:50	25	栗山 怜子	京都大学 大学院工学研究科	流体応力場イメージング による流体科学の基盤構築
11:50 ~ 13:15	85	昼休憩		
13:15 ~ 13:40	25	高橋 和義	産業技術総合研究所 材料・化学領域 研究企画室	局所秩序変数に基づく ナノ熱物質移動論の前進
13:40 ~ 14:05	25	船本 健一	東北大学 流体科学研究所	間質環境の再現と制御による 細胞動態の操作技術の創成
14:05 ~ 14:20	15	休憩		
14:20 ~ 14:45	25	矢吹 智英	九州工業大学 大学院工学研究院	沸騰現象の再構築による 新しい熱流体科学の創出
14:45 ~ 15:10	25	山本 卓也	大阪公立大学 大学院工学研究科	ソノケモフルイディクス論 による化学流体場の予測

※予告無しに変更する可能性があります。

本会は、第63回日本伝熱シンポジウムとの併催で実施いたします。

HPはこちら：<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/htsj2026>

※現地参加をご希望の方は第63回日本伝熱シンポジウムへの

[参加登録](#)が必要となりますので、あらかじめご了承ください。